

令和4年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

事業名	交通動態の変化に対応する道路環境創出事業			担当部局庁	沖縄振興局	作成責任者				
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	令和3年度	担当課室	参事官(振興第一担当)	野本 英伸				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	沖縄振興特別措置法			関係する 計画、通知等	沖縄振興基本方針(平成24年5月内閣総理大臣決定)					
主要政策・施策	沖縄振興			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	新型コロナウイルス感染症の拡大が沈静化した後の沖縄振興も見据え、住民のみならず観光客にとっても快適な道路環境の実現に向けて、深刻な交通渋滞の緩和や魅力的な沿道アメニティ景観を形成するための新たな取り組みを総合的かつ戦略的に検討を行う。									
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①働き方改革に伴う新たな交通行動を踏まえた公共交通利用等促進調査、②コロナ対策を踏まえた安全・快適なバスのあり方調査、③公共交通利便性向上に向けた基幹バスの交通結節点における乗降場の整序等可能性検討、④魅力的な沿道アメニティ景観の創出に向けた検討を実施する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	75	-	-			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	75	0	0			
	執行額		0	0	74.1					
	執行率 (%)		-	-	99%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	99%					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	-	-	-	R3年度で事業終了						
	計	-	-							
活動内容 (アクティビ ティ)	住民および観光客に対する道路環境の創出と利便性の方策を検討する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	道路利用者における快適 性・利便性の向上	方策策定数	活動実績	件	-	-	4	-	-	
			当初見込み	件	-	-	4	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	快適な道路環境の実現に向けて、深刻な交通渋滞の緩和や魅力的な沿道アメニティ景観を形成を検討するものとしていたための調査費用から単位値コストを算出 X:執行額/Y:調査数			単位当たり コスト	百万円	-	-	18.5	-	
				計算式	百万円/件	-	-	74.1/4	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-									

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績								
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標		新型コロナウイルス感染症の拡大が沈静化した後の沖縄振興も見据え、住民のみならず観光客にとっても快適な道路環境の実現に向けて、深刻な交通渋滞の緩和や魅力的な沿道アメニティ景観を形成するための新たな取り組みを総合的かつ戦略的に検討を目的とし、R3年度は目標達成に必要な調査等を行った。								
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標		代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度	
	快適な道路環境の実現に向けて、深刻な交通渋滞の緩和や魅力的な沿道アメニティ景観を形成を検討するための調査		調査の実施及び取りまとめ報告書の件数		実績	件	-	-	4	-	
					目標値	件	-	-	4	4	
					達成度	%	-	-	100	-	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	9. 沖縄政策								
		施策	9. 沖縄振興に関する施策の推進							政策評価書 URL	-
	取組事項	分野:	-								
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-								
		該当箇所	-								
<b>事業所管部局による点検・改善</b>											
	項目					評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	慢性的渋滞の緩和、そのための多様な移動手段の確保、観光需要回復後も見据えた景観形成の取組により、新型コロナウイルス感染症の拡大が沈静化した後の企業の生産性及び国際観光競争力の向上を図るものであり、国民や社会のニーズは高い				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	本調査は、全国的な知見を踏まえ実施する必要があり、また、民間事業者の自発的な取り組みに委ねる性質のものでもないため、調査の効率性の観点からも国が率先して実施する必要がある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	慢性的渋滞の緩和、そのための多様な移動手段の確保、観光需要回復後も見据えた景観形成の取組により、新型コロナウイルス感染症の拡大が沈静化した後の企業の生産性及び国際観光競争力の向上を図るものであり優先度は高い				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					○	一般競争・指名競争(最低価格)契約方式による支出先の選定を行っており、競争性と公正性を確保し、経費の削減に努めている。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					有	なお、本事業においては、一者応札・一者応募となったものがあつたが、ヒアリングによりその原因を調査している。				
	競争性のない随意契約となったものはないか。					無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					-	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	競争入札により業者を選定し、経費の削減に努めている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	事業目的に則し、合理的なものとなっている。				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-	-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					-	-					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					○	交通環境等の改善に向けた課題を整理するため、調査の実施及びとりまとめ報告書の作成を行っている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					○	交通環境等の改善に向けた課題を整理するためという目的に則した調査を実施している。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					○	成果物の一部は沖縄総合事務局ホームページへ掲載し、調査結果を関連事業に反映させるなど調査実施内容は活用されている。				
事業連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					-	-				

点検・改善結果	点検結果	令和3年度は①那覇都市圏に流入する交通量を抑制するため、公共交通端末としてのシェアサイクル利用の実証実験を実施②交通渋滞緩和を目的に公共交通への利用転換のため、感染防止等による安全かつ快適なバス構築の実証運行を実施③交通結節点の検討として、結節点の機能と施設等の整理、事業用地活用に向け複数案の概略図・特徴・課題の検討を実施④快適な道路環境の実現に向けた検討を踏まえ、魅力的な沿道アメニティ景観を創出・持続するための事例集を作成 支出先の選定にあたっては、競争性、透明性及び公平性の確保を図る観点から、総合評価方式により公募を行ったうえで契約を締結している。
	改善の方向性	主な目的は達成しており、特に改善点はなし

**外部有識者の所見**

国交省や他の都道府県、バス事業者や鉄道事業者(民間)でも似たような調査事業を、全国各地で行っている。わざわざ内閣府の予算でやる意味があるのか。また、内閣府がこの金額の4件で、何が分かったのかも、不明。事業の概要と成果について、一般国民、そして沖縄県民は本シートを見るしかないのだが、ここには記載も資料の案内も無い。このままでは、事例集の作成と契約を締結自体が「目的」になっていると理解されても仕方ないだろう。説明責任の観点から言えば、不十分である。

**行政事業レビュー推進チームの所見**

終了予定	外部有識者の所見を踏まえ、国民へ説明責任という観点から、沖縄県との役割分担を明らかにしつつ、本事業を内閣府において実施する意義を説明されたい。また、本事業によって得られた成果(調査結果)を明らかにされたい。なお、今後、同種の事業を実施する際は、本事業で得られた知見やノウハウを最大限生かして、効率的・効果的な事業の実施に努めること。
------	--

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

予定通り終了	沖縄振興については国が国家戦略として総合的・積極的に推進しているところ、渋滞対策についても主要幹線道路を管理する国が知見を活かして本調査事業を行っているところ。県等とは国が設置する「沖縄地方渋滞対策推進協議会」等を通じて連携を図っている。 本事業では、渋滞緩和のための諸方策について ・シェアサイクルの普及のためには、路線バス等公共交通機関からの端末利用を促進するためのサイクルポート増加等が課題であること ・安全かつ快適なバス環境構築のためには、時間短縮や快適な通勤が可能な「通勤急行バス」運行が有効であること ・交通結節点の整備には、歩行者の交通モード間の乗継等の交通機能やまちづくりと連携した賑わい機能等が必要であること 等の調査結果が得られたところであり、これらは今後のバス事業者との協議や交通結節点整備等に活かしていくこととしている。 今後、同種の事業を実施する際は、本事業で得られた知見やノウハウを最大限生かして、効率的・効果的な事業の実施に努めていく。
--------	---

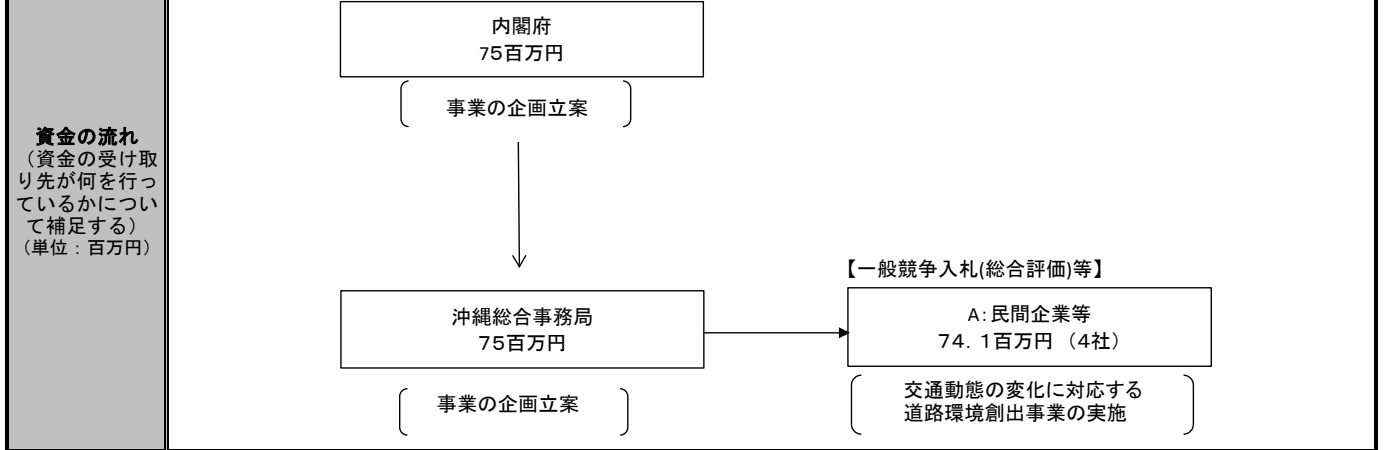
**備考**

-

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

令和2年度	内閣府	新03	0005		
令和3年度	2021	府	新21	0002	

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.一般財団法人計量計画研究所・株式会社中央建設 コンサルタント設計共同体			-		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	計画、調査、検討	9.2	-	-	-
	再委託費	サイクルポート新設	0.3	-	-	-
	その他	旅費、一般管理費等、消費税	15.4	-	-	-
計		24.9	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般財団法人計量計画研究所・株式会社中央建設コンサルタント設計共同体	5011105004806	渋滞緩和に向けた公共交通利用促進調査業務	24.9	一般競争契約 (総合評価)	1	99.5%	-
2	一般社団法人 沖縄しまたて協会	2360005003753	魅力的な沿道アメニティの創出検討業務	19.8	一般競争契約 (総合評価)	1	99%	-
3	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社	4011001005165	感染防止対策及び快適性向上によるバス利用の促進のための実証調査事業	14.8	一般競争契約 (総合評価)	2	92.4%	-
4	株式会社中央建設コンサルタント・一般財団法人道路新産業開発機構設計共同体	6360001008959	次世代都市交通システム導入に関する調査検討業務	14.6	一般競争契約 (総合評価)	1	76.3%	-